



<発行元>

横浜市立荏田東第一小学校
校長 熊谷潤平
地域学校協働本部
代表 伊藤章代

～「荏田東第一小学校 地域学校協働本部」は、2018年度に発足し持続的に活動しています～

2020年からの新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有し社会と連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を重視し、その理念を前文に明示しています。

この理念の実現に向けては、組織的・継続的に地域と学校が連携・協働していくことが大変重要といえます。

文科省 HP『学校と地域でつくる学びの未来』HP より抜粋

上記の「社会に開かれた教育課程」の実現にむけ、2022年度までに全国の小中学校区において地域学校協働本部が設置されることになり、私たち『荏田東第一小学校 地域学校協働本部』も、2018年度に発足され、持続的に活動しています。私たちが保護者の皆様に望むことは、以下の文科省のHPにもあるように、『誰かが何とかしてくれる、のではなく、自分たちが『当事者』として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。』ということです。

私たちは協働本部は、学校・地域・家庭など多様な人々、団体を連携・協働していきます。保護者の皆様は自分の子どもたちのために、少しずつで構いませんので自分ができる範囲の活動に自ら参画してほしいと願っています。ぜひ、学校・子どもたちのために力を貸してくださいませんか？

当校の活動につきましては、今年度入学式セットに封入したパンフレットや昨年度報告書、在校児の保護者の方は年度末に配布した報告書等をご参照ください。

また、今年度から色々な媒体で活動のご紹介等をしていきたいと思っておりますので、その際にはぜひご覧ください。

また、今年度から色々な媒体で活動のご紹介等をしていきたいと思っておりますので、その際にはぜひご覧ください。

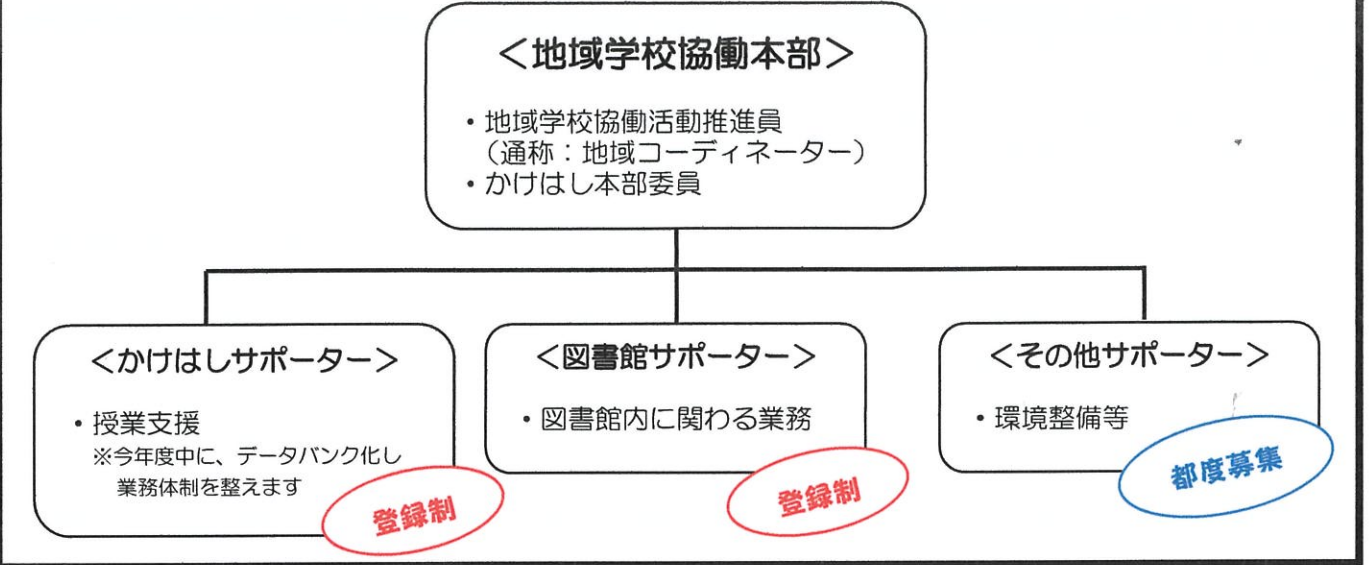
文部科学省

学校と地域でつくる学びの未来 HP

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/>



荏田東第一小学校 地域学校協働本部組織図



◎今年度の活動について

《予定している協働活動》

- 環境整備サポーター
 - 図書館サポーター
 - えだきん花植え (3年生)
 - ささぶねの道の勉強会 (4年生)
 - 家庭科サポーター (5・6年生)
 - さくら草栽培のサポート (環境委員会) 等
- ※詳細につきましては、5月総会資料や都度配布のサポーター募集のお知らせをご覧ください。
- ※予定している活動は、今後変更になる場合がありますのでご了承ください

私達は、地域学校協働本部として保護者や卒業生保護者や地域の方々とサポーター活動をおこない、年度に関わらず継続的な活動ができるよう取りくんでおります。昨年度はコロナ禍でしたが、その中でもできる範囲の活動を保護者の方にご協力いただきありがとうございました。

また、色々な学年の授業にも関わらせて頂き、地域でも子どもたちから声をかけてくれることも増えてきました。嬉しい限りでございます♪

今年度も、『できる範囲のサポート活動』をモットーに活動していきます。どうぞ、ご理解ご協力のほどよろしくおねがいします。

※教育委員会への報告書の添付の為、関わっている活動写真を撮影している場合がございます。撮影中の腕章を身につけておりますので、ご理解ご了承ください。



地域学校協働本部

大澤優香 伊藤章代 能和三佳子

お気軽にお声がけください♪

<問い合わせ先>

荏田東第一小学校 地域学校協働本部

edaone.chiikigakkoukyoudou@gmail.com

地域コーディネーターに関すること・イベント等で何かご意見・ご質問等がございましたら、こちらまでご連絡ください。メールでのご連絡の際は、こちらからのメールが受信できるよう設定等をご確認ください。



ホーム > ユーザー別 > 保護者・地域の方

保護者・地域の方



子供たちを取り巻く状況を考えてみましょう。

学校においては・・・いじめや不登校、貧困など、課題はより複雑で困難なものとなっています。一方、これからの社会は・・・急速な発展により、予測不能な未来がくることが予想されています。

子供たちは様々な課題を解決しながら、生き抜かなければなりません！

そこで、文部科学省では、2020年からの新しい学習指導要領を作成し、そのための法制度の整備や地方自治体への財政支援などを行っており、保護者や地域の方々と学校が協働して子供たちの学びを支える取組を推進しています。

『誰かが何とかしてくれる、のではなく、自分たちが『当事者』として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。子供たちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい。そんな『志』があつまる学校、地域が創られ、そこから、子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、これからの未来の姿である。』(注)

【平成27年12月の中央教育審議会の答申(注)のまともを引用】

「これからの未来の姿」の実現には、学校のみならず、家庭や地域、企業やNPOなど、多様な人々や団体・機関がパートナーとして連携・協働していくことが重要です。それにより、子供だけでなく、大人も地域も、みんな元気になるのです！

保護者の皆さま、地域の皆さま

あなたもパートナーの一員になりませんか、各教育委員会が「地域と学校の連携・協働の推進に向けた取組」を推進しています。ぜひ積極的に参画ください。